

心と力を合わせ 生き生きと学ぶ学校へ

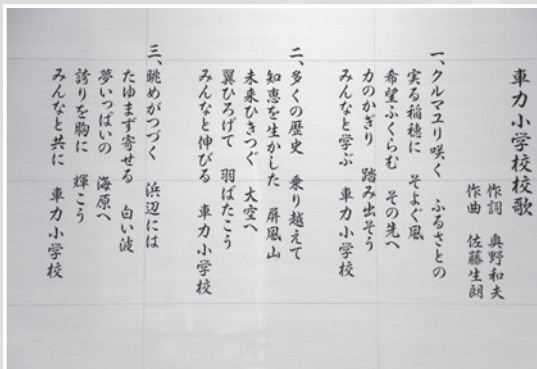
三校の伝統を引き継ぎ、新車力小学校が開校



校歌を斉唱する児童



伴奏する作曲者・佐藤さん



体育館の壁に刻まれた校歌



感謝状を受け取る外崎さん



児童代表の佐々木さん



校旗を受け取る山本校長

牛瀧小、車力小、富范小が
統合し、29年度誕生した新生
「車力小学校」（山本真規子校
長）の開校式が4月7日、同
校体育館で行われました。
式には2年生から6年生
148人と来賓および地域
住民など約50人が出席。葛
西教育長の開校宣言に始ま
り、福島市長が「3校合わせ
て420年分の歴史と伝統を
引き継ぎ、融合し、地域と共
に希望と夢に満ち溢れた学校
づくりを推進してまいります。
児童の皆さんは、新しい仲間
と環境の中で楽しい学校生活
になるようがんばってください
い」と式辞。児童を代表して
佐々木斗和さん（6年）が「み
んなで協力して、明るい挨拶
が響く笑顔でいっぱい学校
にしたい」と希望で胸を膨ら
ませました。
また、校歌を作曲した佐藤
生朗さん（弘前市、旧車力
村生まれ）と、学校へ水墨画
を寄贈した外崎裕司さん（下
車力町）に感謝状が授与され、
最後は佐藤さんの伴奏のもと、
全員で会場いっぱいに校歌を
響かせ、開校を祝いました。



3階建て（1部2階建て）の校舎。隣の中学校と渡り廊下で連結

「学び合う 認め合う 高め合う」

学び舎の紹介

完成した新校舎は鉄筋コンクリート造3階建て（一部2階建て）で、体育館を合わせた延べ床面積は5236㎡。小中連携教育を見据え、隣接する車力中学校と渡り廊下で連結しています。校内の特徴としては、書籍やメディア教材を備えた図書メディアコーナーを配置し、児童が自由に学びながら情報活用能力を育むことができるスペースを確保。また、遊びを通して体力づくりする場として、児童昇降口先の多目的ホールにクライミングウォールを設置。世界各地図が描かれたウォールには、メーイン州バス市との姉妹都市交流のきっかけとなったチェスボード一号の航路も記されました。体育館の床はけがをしにくい硬すぎない素材を使用し、床暖房も備えています。

次代を担う児童が、学習や運動にはげみ、素晴らしい学び舎となることを期待します。



教室



保健室



体育館



図書・メディアコーナー



家庭科室



多目的ホールに設置したクライミングウォール